

視察報告書を提出：個人・会派行政視察(2016.04.15-16)

＊現地の視察時の震災体験について(4月16日)

記：町田市議会議員 吉田つとむ 保守連合

4月14日(木)に熊本市近辺の 町を中心に、震度7の地震が発生する中、4月15日～16日に福岡県飯塚市の視察を行いました。

当初の見込みでは、地震規模が大きくても一過性、あるいは地震の影響は限定的とみられていましたが、後に大分県まで地震発生地が広がり、かつまた、地震の発生期間も余震と言う表現では説明しきれない長期間にわたって、強い地震が続きました。

最も顕著だったのは4月16日の未明の地震で、就眠中に3度も目覚めて、直ちに眠りにくい体感の震度の地震が発生しました。それが、飯塚市で体感したことでその地震の規模がより、強大であることが推測されました。

地震発生後、現地でお世話になった、飯塚市議会議員の江口徹さんは、友人らとすぐさま、被災地応援に入る体制に入り、私が当地を立った翌日の4月17日には救援物資を持ってすぐに現地に走っています。夜を徹した行動で、応援現地の人に喜ばれている報告がありました。学ぶべき行動力であり、感心しました。継続した支援を行われている点も評価されます。

合わせて、飯塚市役所の救援も給水車が現地で活躍する光景が目に入りました。行政機関、職員もすぐに対応、出動したことがリアルに見る事が出来ました。

東京都、町田市の動きの鈍さと対照的であることが分かり、大いに勉強になりました。